

令和2年度 京丹波町立和知中学校【学校評価書】

評価項目	重点目標	具体的方策	評 価			
			自 己			成果○と課題◇ (今後の課題)
			前期	後期	年間	
学習指導	①京丹波町メソッドに基づいた授業展開を徹底する。 ②言語活動に注力する。 ③家庭学習の習慣化を図る。	○「めあて・学習活動・振り返り」の授業展開を全教員で徹底する。 ○言語活動に注力する。(書く・読み合う・発表する等)また、A.L型授業に積極的に取り組む。 ○自主学习ノート(家庭学習)の取組を充実させる。 ○単元テストの導入で学習内容の定着を確実にし、指導と評価の一体化をより明確にする。	B C B C	B B B B	B B B B	○学習の「めあて・振り返り」、ユニバーサルデザイン授業を意識して取り組めた。 ○単元テストを導入し、効果と検討課題を確認できた。 ◇言語活動の充実、家庭学習の効果的な取組を研究する。
人権教育	差別・いじめを許さない教育を推進するとともに多様性を尊重する態度を育む。	○生徒会活動・学級活動等を通して、自他理解を深め、自己肯定感を向上させ、差別・いじめを生まない集団づくりに取り組む。(QUの効果的活用) ○系統的な人権学習課題を設定する。 ○教職員の人権研修の充実を図る。	B C C	B B C	B B C	○人権学習旬間、特活、道徳の時間等で人権的視点に立った丁寧な指導ができた。 ◇日常的に人権意識を高揚させる取組、職員研修を行う。
道徳教育	規範意識・思いやりの心・豊かな人間性を育み、道徳的実践力を育成する。	○全校体制で道徳教育(授業等)に取り組むとともに、日々、道徳教育を意識した指導を行う。 ○生徒を伸ばす適切な評価の研究・実践を進める。	B B	B C	B C	○担任外の授業も含め、学校教育全般で指導に取り組めた。 ◇評価について研修を深める。
特別支援教育	①個に応じた指導・支援を行う。 ②理解教育を推進する。 ③生徒の自立と社会性の育成を目指す。	○特別な支援を要する生徒の発達課題や特性を把握し、個別の指導計画、個別の教育支援計画に基づく指導・支援を充実させる。 ○ユニバーサルデザイン授業、インクルーシブ教育の視点を大切にした指導を実践する。	B B	B B	B B	○特別な支援を要する個々の生徒に応じた指導に丁寧に取り組めた。 ◇課題の共通理解と各計画の活用、職員研修の充実を図る。
教育相談	相談活動を充実させ、課題解決の意欲と力を育む。	○「日々の生徒の記録」に生徒の状況を記録し、共通理解を図る。 ○関係機関とも連携し、課題の早期対応に努める。	A B	A A	A B	○ケース会議、関係機関との連携、生徒の面談等で、組織的に課題解決に取り組めた。
生徒指導	人権尊重を基盤に生徒理解を深め、望ましい集団づくりと豊かな人格形成を促す。	○社会規範(正しい価値観・判断力)と生活規律を学ばせ、生徒の人格的な自立を促す。 ○認め合い、高め合う生徒集団づくりを目指す。 ○生徒に寄り添い、共に歩み育てる共感的指導を行う。	C B B	B B B	B B B	○各部と連携して個別の課題解決に取り組み、良好な生活状況を実現できた。 ◇積極的な生徒指導を提起し、自己肯定感を育む指導を行う。
特別活動	主体的な生徒会活動を軸に、生徒の自己肯定感を育む。	○各会議を開催したり、縦割グループで活動したり、多くの生徒が意欲的に取り組める機会を作る。 ○学校の良さや取組を地域に積極的に発信する。	B C	B B	B B	○縦割グループの活動、新生活様式のもと工夫した行事を実施し、充実した活動ができた。
環境教育	自然環境問題・環境美化に関心をもち、実践力を育む。	○各教科・領域を通して環境問題や環境保全(自然や資源)について考えさせ、実践できる態度を育む。 ○教室環境の整備・清掃に積極的に取り組ませる。	B B	B B	B B	○教科や道徳を通して学習できた。 ◇各教科・領域でSDGsに関わる取組を意識して進める。

福祉教育	体験的活動を通して、主体的に福祉に関わる態度を育成する。	○長老苑との交流、わち子どもの集いへの参加、地域清掃活動等を通して福祉への理解と関心を深めさせる。	C	C	C	○清掃活動、花植等ができた。 ◇体験的学習以外の学習、ICT活用、認知症の学習等を行う。
国際理解	人権尊重の心、コミュニケーション能力を培う。	○ALTとの積極的な交流、各授業での国際理解意識向上に努める。	B	B	B	○ALTとの充実した授業や活動、異文化理解・国際貢献を学ぶ授業等で学びを深めた。 ◇コミュニケーション力向上の場を設定し、表現力を高める。
		○和知の文化を英語で説明する時間を設ける。	C	C	C	
		○人前で発表する機会を設定し、コミュニケーション力、表現力を鍛える。	B	B	B	
キャリア教育	①目的と展望を持って課題解決する力を育む。 ②進路実現・自己実現を目指す生徒を育てる。	○キャリアパスポートを効果的に活用する。	B	B	B	○職業調べ、適性の学習、キャリアパスポートの活用でキャリア意識を育めた。 ○進路保障を実現できた。
		○生徒自らが将来の生き方や勤労観・職業観についてビジョンを描く力をつけさせる。	C	B	B	
		○全ての生徒の進路保障を実現する。	B	B	B	
総合的な学習	学校・地域の特色を活かした学びを通し、思考力・判断力・表現力とともに、自信と誇りを育む。	○和知人形浄瑠璃や和知太鼓の学習を通し、和知の歴史・文化・産業・社会・人々について探究的に学ばせる。	B	B	B	○伝統文化・表現技能の学習を継続し、発表できた。 ◇課題解決型学習・探求活動に取り組み、総合力をつける。
		○様々な表現活動を通し、思考力判断力も育む。	B	B	B	
小中連携	9年間を見通した小中連携の在り方について研究・実践する。	○総合の時間を軸に小中の連携を強化する。 ○授業改善、学力向上にともに取り組む。	B	B	B	○合同研修で各取組や学力・評価について協議できた。
健康安全	健康安全の大切さを認識し、心身の健康保持増進に対して、適切に実践できる力を育成する。	○健康診断の有効活用、歯科指導の充実、体力面の課題解決の講習等に取り組む。 ○発達段階に応じた諸課題の指導を適切に行う。 ○避難訓練・救命講習、安全点検を実施する。	B	B	B	○コロナ感染対策のもと健康安全を確保できた。 ◇防犯訓練等、応用的な訓練を実施し、対応力を高める。
食に関する教育	食生活のマナーを身につけ、食育を推進する。	○給食を通してマナーや望ましい食習慣、食の重要性を学ばせる。	B	B	B	○安全に給食を実施できた。 ○残菜もなく給食を楽しめた。
図書館教育	全校あげて読書活動の充実を図り、「ことばの力」育成に取り組む。	○年間を通して朝読書に取り組みさせる。 ○図書委員会活動等で読書啓発活動を推進する。 ○学校図書館の環境整備を進める。	B	B	B	○円滑な図書館運営ができた。 ◇朝読書の充実、図書の紹介等で啓発活動を進める。
情報教育	①情報モラルを身につけさせるとともに、情報活用力を育む。 ②ICT活用能力を育成する。	○道徳教育や生指・人権教育部と連携し、系統的に情報モラルの指導を行う。	C	C	C	○授業でICT機器活用が進み、生徒向け活用講座ができた。 ◇効果的活用の研修、生徒を交えたルール作りに取り組む。
		○生徒教師ともに授業での積極的なICT活用に取り組む。	B	B	B	
教職員の働き方	超過勤務の短縮と業務の見直しに取り組む。	○出退勤システムを有効活用し、タイムマネジメント力を向上させる。	B	B	B	○超過勤務/月45h未満を7割程度で実現できた。 ◇校務分掌を改編し、教育効果の向上を目指す。
		○校務分掌のスリム化について検討する。	B	B	B	

A：十分満足できる B：満足できる C：一部改善が必要 D：改善が必要